

寺井 雄二 議員

アクアパーク浅羽建設時の 約束事項は守られるのか

Q 問 下水道浄化センター建設に伴って地元と交わした約束事項を、今後のアクアパーク浅羽周辺整備計画の中に取り入れていくのか。

A 答 現在、都市計画マスタープランを策定中である。これに伴い開催した地域まちづくり会議での地元の皆様からのご意見等も踏まえ、市の総合計画と都市計画マスタープランとの整合を図り、総合的にこの周辺整備を推進していきたい。

空き温室の有効利用を図ることが できないか

Q 問 空き温室を活用して、新規就農者を増やすことはできないか。また、空き温室を特定法人に貸付事業による賃貸借ができないか。

A 答 空き温室の活用策を検討し、クラウンメロン支所に提案していきたい。また、温室をメロン以外に活用することも考えられる。いわゆる農業ビジョンといったものの中で絵を描き、幾つかの方法を提案していくべきと考える。



アクアパーク浅羽

竹原 和義 議員

国本地区ショッピングセンター 進出計画浮上から約2年

Q 問 計画地の農用地除外ができた後は、地域農業振興に関する地方自治体の計画を策定し、地区計画制度の活用をしたらどうか。

A 答 まちづくり三法の改正で、大規模集客施設の立地は、近隣商業地域、商業地域、準工業地域に限定された。総合計画や策定中の都市計画マスタープランに位置づける商業系の用途地域指定をするのが適当と考える。

職員の意識改革についての考えは

Q 問 職場単位で「一係一改善、一課一改革」を導入してはどうか。

A 答 職員一人一人の知識や発想を組織全体で共有するワンステップアップ運動の中で、所属ごとに日々の業務に携わる環境づくりに努めている。

市民に対しよりわかりやすい 「予算及び決算」報告を

Q 問 「予算・予算執行状況」を広報ふくろいへ掲載する際には、1世帯あたりに換算するなど工夫して、わかりやすくしては。

A 答 市民にとって市の財政状況が一層わかりやすくなるよう努めていきたい。

「市の財政を家庭の家計に例えてみよう！」

家計の家計と市の財政では、共通点があり、どちらも収入と支出のバランスが重要です。市の財政も家計と同様に、収入と支出のバランスが重要です。

●収入		●支出	
給与(市税)	900万円	給与(人件費)	361万円
ボーナス収入(市税)	86万円	家計の借入金(市税)	800万円
備中市の生活口(市税)	271万円	市民サービス(市税)	2,702万円
借入金(市税)	80万円	国や県からの補助金(市税)	87万円
合計	941万円	子どもへの生活口(市税)	894万円
		福祉の費用(市税)	11,429万円
		市の借入金(市税)	16,479万円
		税金	893万円
		合計	90,739万円

※収入と支出の合計は、翌年度の決算となります。

家計に例えた市決算(広報ふくろい11月1日号より)